

北九州リハビリ報告

vol. 38

北九州市議会議員 中村 よしお

2020.10.10



9月議会 開催

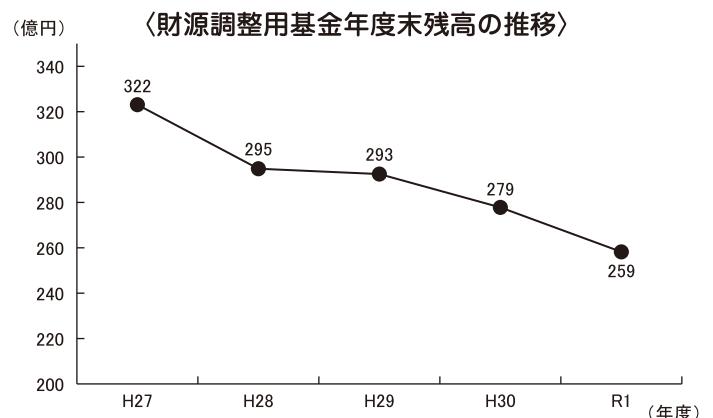
9月3日から10月6日まで9月定例議会が開催されました。本議会では令和元年度決算と新型コロナウイルス感染症対策の補正予算を審議しました。

また今回も今任期13回目(小倉北区の議員で最多質問回数)の本会議一般質問を行いました。議員の最も大切な活動の場は本会議質問、これからも本分を全うし頑張ります!

令和元年度決算

市の財政の最もわかりやすいバロメーターは貯金にあたる財源調整用基金です。

図のように前年度比20億円減の259億円、ここ数年、概ね20億円前後減少しています。今後も高齢化の進展等の影響で減っていくことが予測されています。



補正予算

4月臨時議会、6月議会に続き、新型コロナウイルス感染症対策予算が可決されました。

主な内容は

- ◆PCR検査や抗原検査ができる医療機関を大幅に増やします。現在18医療機関でしかできないPCR検査・抗原検査を新たに200以上の医療機関ができるようにします。
- ◆過剰な負担がかかっている保健所機能のうち、検体搬送業務等を外部に委託化します。
- ◆インフルエンザとのダブル感染拡大を防ぐため、医療機関、高齢者や障害者施設、教育機関、保育機関等の従事者の予防接種料金を1,000円で出来るよう補助します。
- ◆首都圏のIT企業等を誘致するため、オフィス改修工事費補助やテレワーク環境整備補助、お試しサテライトオフィス実証事業等を行います。

一般質問

新型コロナウイルス感染症対策について60分間の質問をしました。



感染拡大防止のための検査体制は医療機関のドクターからのご意見を中心に、介護事業所や障害者事業所支援については、さまざまな立場の方や現場の方からご意見を伺い、避難所運営についても、7月の豪雨や9月の台風10号のときに私自身が『まち』の代表者として避難所に詰めた経験を生かして質問しました。

またこれから北九州市発展のために、コロナによる自粛で経験したテレワークやオンライン会議を生かした首都圏からの企業誘致や人口増対策も提案しました。

- 主な質問内容
- 1 新型コロナウイルス感染症検査体制について
 - 2 新型コロナウイルス感染症に関する医療機関や介護・福祉機関への支援について
 - 3 新型コロナウイルス感染防止のための活動自粛の副反応（悪影響）について
 - 4 新型コロナウイルス感染症の影響による生活から生み出す新たな可能性（企業誘致や人口増対策）について
 - 5 withコロナ時代の災害対策について

議会中継の
発言内容は
こちらから



意見書提出

「意見書」とは、議会から国等に意見要望をあげるシステムです。今回は私に届いた介護施設等の苦しい訴えを意見書として国に届けました。内容は下記の通りです。

高齢者施設はコロナの影響で収入が大幅に減少しています。これに対して国は4月にデイサービスを休んでいる利用者に、安否確認の電話を入れることで介護報酬が算定でき、また6月にはデイサービスを利用した場合、通常より単価を高く算定することができる通知を出しました。しかしこれには利用者の承諾が必要であり、同じサービス提供を受けた場合、承諾した人としない人に差がつくこと、そして利用者の自己負担が増えることが現場レベルで問題になっています。

今回の通知の支出を国が負担するよう意見書を提出しました。

はじめに
YOUTUBE



事務所移転のお知らせ

10月1日より、14年間の活動拠点としてきました
事務所を移転することになりました。
新しい事務所にもお気軽に立ち寄りください。
皆様のご来所をお待ちしています。



中村よしお事務所

〒802-0043 北九州市小倉北区足原1丁目12-6
リクシア足原401号

TEL(093)932-8533 FAX(093)922-8277
E-mail : nakamura-y3226@nifty.com URL : http://www.nakamura-yoshio.jp/

